

第20回通常総会

～地域を活性化する人のさらに濃密なネットワークをめざして～

令和5年度 NNS 通常総会を令和5年7月21日にワークプラザ勝田2階大会議室にて開催いたしました。当日は36名の会員にご参加いただきました。今回で第20回目を迎えた通常総会は、西野 信弘会長の挨拶に始まり、昨年度の事業報告、収支決算及び監査報告、今年度事業計画案、予算案、役員案など5件の議案について、審議が図られ全て原案どおり承認されました。

この結果、役員については、事務局長として高野 佳樹((株)ひたちなかテクノセンター企業支援部長)が新たに就任、監事として服部 将人様(株常陽銀行コンサルティング営業部)に代わり、穴山 浩二様(株常陽銀行コンサルティング営業部次長)が新たに就任いたしました。今後も、事業計画に基づき、産・学・官・金の連携による地域活性化への貢献ができるよう尽力してまいります。

基調講演では、茨城大学工学部教授 小泉 智様をお招きし、『中性子線を使った新しい非破壊検査 開発と利用』と題してご講演をいただきました。中性子線を用いた非破壊検査、最先端技術について、丁寧に分かりやすく解説いただきました。企業の抱える課題の解決に役立つ可能性のある中性子線の産業利用について、微力ながら、今後 NNS でも普及・啓発に協力していければと考えております。



講演の様子



小泉 智教授の講演



講演の様子

また、今回の総会では4年ぶりに飲食を伴う交流会も開催しました。交流会は今橋正守副会長の乾杯の発声で始まり、多忙な会員様同士の久々の再会等、交流を深める貴重な時間となりました。

盛会となった第20回 NNS 通常総会は、黒澤昭広 副会長の中締めで幕を閉じました。



総会後の交流会の様子



黒澤昭広 副会長